

ポルトガル共和国

主要データ

国名〔英名〕	ポルトガル共和国〔Portuguese Republic〕
面積(km ²)	92,090
海岸線延長(km)	1,793
人口(百万人)	10.8
人口密度(人/km ²)	117.3
GDP(百万US\$)	220,569
一人当りGDP(US\$)	20,661
主要鉱産物：鉱石	銅、亜鉛、銀、タングステン
主要鉱産物：地金	鉛
鉱業管轄官庁	ポルトガル経済革新省傘下、地質・エネルギー総局 (DGEG : Direccao Geral de Energia e Geologia)
鉱業関連政府機関	-
鉱業法	有用鉱物を含む堆積物の採掘及び開発に関する法令(法令第90/90)、地下資源基本法(法令第88/90、1990年3月16日制定)
ロイヤルティ	契約ごとに異なるが、鉱山生産価値に対して平均2~4%。
外資法	100%投資可。但し、外国企業を優遇する税制上の制度は無い。
環境規制法 (環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	欧州の環境に関するEU指令が年々厳格化されているため、政府はEU基準に合わせて、探鉱活動や鉱山事業に関する法律の改正を行っている。ウラン探鉱の許可に関しての政府の決定が引き続き待たれる。
鉱業公社	-
鉱業活動中の民間企業	Lundin Mining、双日(株)等
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	特になし
2011年のトピックス	・ Aljustrel 鉱山は2013年に亜鉛生産を再開予定。

1. 鉱業一般概況

ポルトガルの銅の生産量は、世界の生産量の約0.46%、タングステン生産量は欧州全体の約18.2%を占めている(世界生産量の約0.9%)。

ポルトガル政府は、鉱業を優先的産業と位置付けており、2012年4月には、ポルトガル南部に位置する金、銀、銅、鉛、亜鉛のプロジェクトの探鉱権の競争入札の募集を開始した(期限は2012年7月4日)。

2. 鉱業政策の主な動き

現行の鉱業法は、1990年に制定されて以降大きな変更はなく、2011年も鉱業法改正の動きは見られなかった。探鉱権については、期間は探鉱権1件につき最大5年間(延長を含む)、面積は1件につき1,000km²未満と制限されている。但し、鉱業における環境規制に関しては、年々厳格化するEU指令に合わせて改正が行われてきた。

同国にはウラン資源の賦存が確認されているが、現時点ではウラン探鉱は許可されていない。DGEGによれば、ウラン探鉱の許可に関しては、引き続き政府の決定が待たれている状況である。

また、同国政府は鉱物資源戦略の策定を進めているとされる。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 1-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2009年	2010年	2011年	対前年増減比(%)
銅(千t)	86.5	74.0	74.1	0.1
亜鉛(千t)	0.5	6.4	4.2	-34.2
銀(t)	22.5	23.7	28.4	19.8
タングステン(t)	832	805	819	1.7

(出典: World Metal Statistics May 2012, World Metal Statistics Yearbook 2012)

(2) 主要金属地金生産量

表 1-2. 金属地金生産量

鉱種	2009年	2010年	2011年	対前年増減比(%)
鉛(千t)	4.0	4.0	4.0	0.0

(出典: World Metal Statistics May 2012)

(3) 主要金属消費量

表 1-3. 金属地金消費量

鉱種	2009年	2010年	2011年	対前年増減比(%)
銅(千t)	3.2	5.1	4.6	-10.3
鉛(千t)	7.0	4.3	7.7	79.4
亜鉛(千t)	12.0	15.2	12.7	-16.2

(出典: World Metal Statistics May 2012)

(4) 主要金属輸出量

表 1-4. 精鉱・地金輸出量

鉱種	2009年	2010年	2011年	対前年増減比(%)	主な輸出相手国
銅精鉱(グロス)(千t)	371.9	305.5	327.1	7.1	フィンランド、スペイン、ブラジル

(出典: World Metal Statistics May 2012)

(5) 主要金属輸入量

表 1-5. 地金輸入量

鉱種	2009年	2010年	2011年	対前年増減比(%)
鉛地金(千t)	3.9	5.5	4.7	-15.1
亜鉛地金(千t)	12.8	15.4	13.3	-14.0

(出典: World Metal Statistics May 2012)

4. 鉱山・製錬所状況

・Neves-Corvo 銅・亜鉛・銀鉱山

Neves-Corvo 鉱山は、イベリア黄鉄鉱帯の西部に位置する坑内掘鉱山で 1989 年に生産を開始して以来、欧州有数の銅鉱山として操業し、2006 年からは亜鉛の生産も開始した。

探鉱を続けている Lombador 鉱床に関しては、FS が 2011 年 9 月に完了した。また Lombador 鉱床の開発プロジェクトには、亜鉛生産能力を現在の 5 万 t/年から最大 15 万 t/年に拡大することが含まれている。2010 年 10 月に発見された Semblana 鉱床に関しては、2011 年 12 月に予測資源量が発表され、これによると銅の資源量は 658 万 t(品位 3%)である。

表 2. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業 (権益:%)	鉱種	生産量 (t)	備考
Neves-Corvo	Lundin Mining (本社:Toronto) 100%	銅 亜鉛 銀(oz)	74,109 4,227 901,085	・2011 年 9 月、Lombador 鉱床の FS が完了 ・2012 年の生産量に関しては、銅は低品位化により減産、亜鉛は増産となる予定
Aljustrel	I' M SGPS (本社:Portugal) 100%	銅、亜鉛、鉛、 銀	-	・2008 年 11 月以降は亜鉛価格の低迷により、鉱山設備メンテナンスを継続し、亜鉛生産を休止。2010 年後半に銅・銀鉱石の生産を開始。亜鉛生産は 2013 年に再開予定。
Panasqueira	双日(株)の子会社である Sojitz Beralt Tin & Wolfram S.A. 社 (本社:Portugal) 100%	タングステン精鉱 銅精鉱 錫精鉱	1,399 [※] 238 [※] 45 [※]	・2007 年 8 月、双日(株)が Primary Metals 社との友好的 TOB により 100%買収。 ・報道によるとタングステン精鉱生産を 2013 年までに 2,000t/年に増大する計画。

(出典：各社の年次報告書 2011)

※精鉱総量を示し、本統計はポルトガル地質エネルギー局 [DGEG] を参照。

5. 探鉱状況

・Lagoa Salgada 鉛・亜鉛等の多金属探鉱プロジェクト (Portex Minerals 社(本社:Toronto) 権益 100%) では、フェーズ 1 のボーリング調査を 2011 年 9 月に終了し、フェーズ 2 のボーリング調査を 2012 年 2 月に開始しており、予備的経済性評価 (Preliminary Economic Assessment) を行う予定。

・Montemor 金探鉱プロジェクト (Colt Resources 社(本社:Montreal) 権益 100%) は 2010 年 8 月に Colt Resources 社が権益を獲得した後、試掘調査を継続している。

・Alvalade 銅・亜鉛探鉱プロジェクト (Avrupa Minerals 社(本社:バンクーバー) 権益 100%) では、Antofagasta Minerals SA 社(本社:Anaconda) と共同で探鉱活動を進めており、2012 年 6 月にフェーズ 1 試掘調査を完了した。

上記の他、現在探鉱活動が行われているプロジェクトには、Jales 金探鉱プロジェクト (ポルトガル政府)、Penedono 金探鉱プロジェクト (Colt Resources 社(本社:Montreal) 権益 100%)、Portalegre 金探鉱プロジェクト (Iberian Resources (Petaquilla) 社(本社:Sydney) 権益 100%) 等がある。

・Moura 鉛・亜鉛探鉱プロジェクト (Northern Lion Gold 社(本社:Vancouver) 権益 100%) では 2011 年 9 月にダイヤモンド・ドリルによる試掘プログラムを開始した。

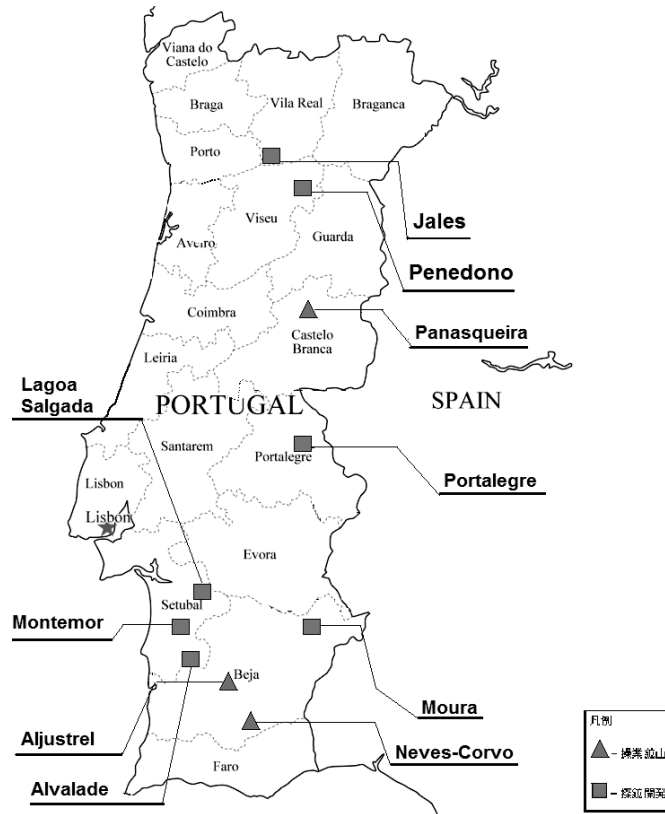


図 1. 主な操業鉱山・探鉱開発案件の位置図

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

表 3. 日本への精鉱・地金輸出力

鉱種	2009年	2010年	2011年	対前年増減比
タングステン精鉱(t)	0	20	180	800.0
タングステン酸化物(t)	0	21	30	42.9

(出典：財務省貿易統計データ)

(2) 日本企業による投資状況等

上記のとおり、双日(株)が Panasqueira タングステン鉱山の権益 100%を有しており、2013 年に向けて今後タングステンの増産が期待されている。その他、日産自動車は 2011 年 2 月 11 日、ルノー・日産アライアンスが欧州で発売する電気自動車(EV)向けのリチウムイオン電池の生産工場の建設開始を発表した。日産の欧州子会社である欧州日産が 1 億 5600 万・を投資したリチウムイオン生産工場では、2012 年 12 月から年間 5 万台分の電池を生産する予定である。

7. その他トピックス

2011 年 12 月、リスボンにおいて、四宮信隆駐ポルトガル大使とパウロ・ヌンシオ・ポルトガル税務担当財務副大臣との間で、「所得に対する租税に関する二重課税の回避及び脱税の防止のための日本国とポルトガル共和国との間の条約」の署名が行われた。(参考：外務省ホームページ)

(2012. 7. 12 ロンドン事務所 北野由佳)